

道産子タレント青山千景が北の経営者に聞く..第1弾は「石屋製菓」

33歳若きリーダー 地元盛り上げる!! 石水社長

21世紀のフロンティア
青山千景がリーダー直撃

北海道を引っ張る経営者たちを道産子タレント・青山千景が直撃する。21世紀のフロンティアがスタート。第1回はお土産の定番白い恋人で知られる石屋製菓の石水創社長(33)。お菓子に囲まれていた少年時代、07年の不祥事、そして北海道の未来について熱く語ってくれた。道民と目指すのは世界の恋人HOKKAIDOだ(今回は21日掲載予定)。

原点 ■ 父の熱い姿勢



石屋製菓と言えは白い恋人ですね。「1976年から発売して来年40周年。私自身、おやつはポテチと白い恋人が定番でした。家にはケーキ屋さんがあるような大きな釜がありました。物心ついたときから周りにはお菓子の世界が広がっていたんです」
— 現会長の父・勲さんほどんな方でしたか？

「お菓子に対する情熱を感じていました。よくお菓子を作っていましたよ。白い恋人パークを造ろうと願っていました。父と図面を持って来て聞かれたのは中学生のとき。驚きました。その楽しそうな話を聞くのが好きでした。お菓子に対する愛情あふれる言葉から仕事って楽しそうだと感じました。それが今の原点になっています」
— そのパーク、観光客にぎわっていますか。海外の方にも人気。
「夏が観光のピークのはずが11月も数字が落ちない。激しい北海道のお土産競争でも白い恋人は漢字と平仮名が入ったネーミングで、洗練された日本らしいという意味でも人気が高いそうです」
— パークの新企画はありますか。
「パーク内にある小さな家、ガリバーハウスは女の子に人気があるけど男の子にはイマイチ。そこでイギリス庭園にふさわしいロンドンタクシーなど置くかと考えています」

白人から世界の恋人へ

転機 ■ 07年の不祥事

「2007年、賞味期限改ざん問題がありました。この不祥事を転機でした。まさかの「ショック」な出来事でした。中。どうお楽しみに！」
— 人生の転機は？
「2007年、賞味期限改ざん問題がありました。この不祥事を転機でした。まさかの「ショック」な出来事でした。」



△石水 創(はしみず・はじめ) 1982年(昭57)3月30日、札幌市生まれの33歳。東洋大学法学部卒業、小樽商科大学院修了。04年に石屋製菓に入社。06年の取締役から専務、専務、副社長を経て13年7月社長に就任した。本田宗一郎、稲盛和夫両氏の著書を読んだ。お気に入りアプリは名刺管理の「Eighth」。

▽石水 千景(あおやま・ちかげ) 1986年(昭61)1月17日、札幌生まれの29歳。北海道海学園大卒業。中学時代からタレントとして活躍。00年CMデビュー。07年度に「旅タ」出演。姉の千景もタレントとして活躍している。

雪のイメージ * ウィンタースポーツの恋人にも注力

北海道の企業として北海道のために考えていることは、「コンサドレをはじめスポーツの支援には力を入れています。札幌五輪などの課題もありますが、スポーツで北海道全体が元気になってくれればと思う。白い恋人と雪のイメージからもウィンタースポーツにもっと力を入れたい」
— そのコンサドレは？
「6日現在、29位のスタートですが、スタートダッシュというわけにはいかなかったが、間違いなく去年より選手層が厚くなっている。夏場に向けてケガ人が戻ってくるので、これからは楽しみ」
— スポーツで、観光で北海道を盛り上げたいですね。
「2年前、若手世代を中心に北海道観光を考える会が創設されました。北海道の観光に関する予算は6億円余り。沖縄の93億円に比べてもずいぶん少ない。もっと観光について行政にも訴えかけたい。そして道民一人一人が観光客に対してウェルカムな気持ちを持つほしい。白い恋人から世界の恋人へ、世界中から恋人たちよ、北海道に来てください」



座右の銘を記した色紙を手に笑顔

でも冷静に考える。外の世界を知らなかったから、という理由の1つだと思えます。会社も変わり、自分の考え方も変わった瞬間でもありました」
— 大きな出来事でしたか。
「食品企業を取りまく環境の変化を常に注視しなければならぬと感じました。私自身もとにかく外に出てまわらなと関わり、こうして取材も受けるようになった。そして、経営において基礎から学ぶようになったのをきっかけに小樽商科大のビジネススクールに年間通いました」
— ビジネススクールはどんな場所でしたか？
「レポートとプレゼンとグループワークを中心にして自己主張の協調性を学ぶ場でした。」
— 社内のムードは？
「商品開発の打ち合わせで女性社員から社長、それイケてない!」と言われることもありますが、言える環境をつくることが大切。組織として言いたい事

組織 ■ 何でも言える

「商品開発の打ち合わせで女性社員から社長、それイケてない!」と言われることもありますが、言える環境をつくることが大切。組織として言いたい事